

例会報告：2015年9月8日（雨） 第1903回 通常例会

◆ ビジター

清 元秀様（小田原RC）

◆ 会員誕生日

中村 維孝 様（9月11日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
9月8日分	12,000	193,500	1,300,000

* ビジター

清 元秀様…初めて城北ロータリーさんにメイキャップさせていただきます。小田原RCの清 元秀です。本日は親子そろって気恥ずかしいですが、よろしくお願ひ申し上げます。

* その他

清 康夫さん…①小田原クラブの清さんようこそ。会社が近いから月1回はメイキャップに来て下さい。②27日の当クラブのゴルフコンペ楽しみにしております。多数の参加を。

河野 秀雄さん…小嶋君。一日も早く立ち直る事を祈る。

杉崎 勝成さん…会報記載の雑誌広報委員会の記事は本当は金山委員長の記事です。再度ロータリーの友を読み直して見て下さい。

小嶋 章司さん…明日のさがみ信用金庫のバス旅行（静岡方面）が中止になりました。残念ですけど、体を休めます。

荻野 善明さん…村上さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

杉本 博愛さん…①長期間欠席すみませんでした。やっと開放されました。②8月28日、結婚記念のお祝いありがとうございます。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2015年9月-

- ▶16日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：私にとっての小田原北ロータリークラブ」
- ▶17日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：新会員自己紹介/高橋会員・高野会員」
- ▶18日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶18日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30
「卓話：ガバナー公式訪問」
- ▶21日(月) 小田原 休日休会
- ▶22日(火) 箱根
- ▶23日(水) 小田原北 休会
- ▶24日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「クラブフォーラム/ガバナー公式訪問」
- ▶25日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶25日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30
「卓話担当：職業奉仕」
- ▶28日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「クラブ協議会/ガバナー公式訪問」
- ▶29日(火) 箱根
- ▶30日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：元小田原北ロータリークラブ会員石田/東洋医学について」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：柳井 渉
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：大川 誠
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2015-2016
 WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

【R.I. 会長】
 K. R. ラビンドラン
 【R.I. 2780地区ガバナー】
 田中 賢三
 【第9グループガバナー補佐】
 石崎 孝



【会長】木村 頼弘
 【副会長】久保田 知子
 【幹事】柳井 渉
 【副幹事】須藤 公司
 【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1904回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2015年9月15日 12:30～13:30
 司会：須藤 公司 副幹事

12:30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	担当：荻野委員長 卓話：箱根強羅観光協会 専務理事 田村 洋一 様 「火山災害と観光」
13:30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

9月22日（火）休会

9月29日（火）通常例会 12:30

担当：金山会員
 卓話：有限会社川田製作所 副社長 川田 俊介 様
 「3Dプリンターから始まる町工場の未来」

10月6日（火）通常例会 12:30

担当：菊地会員
 卓話：パストガバナー 山地 裕昭 様
 「内容未定」

10月13日（火）通常例会 12:30

「クラブ協議会」

10月20日（火）通常例会 12:30

「クラブ協議会/ガバナー公式訪問」

10月27日（火）通常例会 12:30

「クラブフォーラム（米山）」

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター: 1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。

例会報告：2015年9月8日（雨） 第1903回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年9月8日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「組織のルール」について



木村 頼弘 会長

今日は「組織のルール」についてお話します。

私達の所属している城北RC、今46人おりますが、この組織の中で生きていくためのルールについてお話します。

1つ目のルールは、「多少の傷は受け入れる事」これが、1つ目のルールで

す。私達のこのクラブを1つの大きな魚の群れと考えて見て下さい。私たちは大きな群れの一部として、また群れのお蔭でその中で生きているわけです。

このような大きな群れの中に居るわけですから、時にはぶつかったりする事もある訳です。例えて言うなら 「嫌な事を言われたり」「嘘をつかれたり」「笑われたり」「からかわれたり」「悪口を言われたり」

このように様々な事が起こる訳ですから、群れの中で生きている限り、必ず傷つく事は避けられません。自分も、知らない内に誰かを傷つけてしまっている事があると思います。傷つく事は怖い事ですが、それを避ける事は、群れの中に居る限り不可能な事です。絶対に傷つかないように生きようと思うのなら、群れから離れるしかありません。傷つく事を恐れたら、群れの中では生きて行けません。どちらにせよ、よほどの悪意がなければ、「お互い様」と思い、深く考え過ぎない事です。「多少の傷は受け入れる事」これも、組織の中で生きる残る大切なルールです。

2番目のルールは、「許し合う」というルールです。このルールは1番目の「傷を受け入れる」事より難しいルールです。しかし、「許し合う」というルールを守らないと、自己中心的な自己顕示欲の強い者がはびこり「調和のとれた組織の構図」は崩れます。

私たち一人々は、ジグソーパズルの1つのピースみたいなものです。ピースの出っ張っている部分が、個人の長所です。へこんでいる部分が、個人の短所です。その長所と短所がたくさん組み合わさって、46人で一枚の絵を創っているわけです。いがみ合うという事は、時間の浪費と、自分の価値を下げる事になります。人間は個々の存在では「非常に不完全で間違いを犯しやすい生き物」です。その不完全な部分を組織の中では「許し合う」というルールを守る事で修正がなされるのです。

当クラブも多くの人がいて、色んな価値観や意見を持っているわけです。「多少の傷を受け入れ」「許し合う」というルールを守る事が、クラブのため、自分の為そして、このクラブで生き残るためのルールだと考えています。

言葉でいうのは簡単ですが、何のためにこのクラブに入ったのか、今一度考えて見て私はこのルールを出来る限り守っていかうと考えています

❖ 幹事報告

柳井 渉 幹事



1) 湯河原ロータリークラブから例会日の変更が来ています。23日 通常例会・30日 特別休会の予定でしたが、23日 特別休会・30日通常例会と変更になりました。

2) 地区よりインターアクト年次大会が11月23日（月）に逗子開成中学校高等学校にて開催されます。登録・振込み期限は9月30日（水）までです。

3) 地区大会の出欠席をまだ出されていない方は提出をお願いします。

❖ 出席報告

守屋 善男 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月8日	46(43)	38	2	93.02%
9月1日	46(40)	31	0	77.5%
8月25日	46(43)	34	1	81.4%

【欠席者】5名

石崎 孝、齋藤 永、金山 慶昭、大川 誠、中村 維孝

【今回MU】2名

石崎 孝 (9/8 箱根RC)
金山 慶昭 (9/8 箱根RC)

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

❖ Table Flower

- りんどう
 - われもこう
 - 秋明菊
- 【花言葉】
りんどう：「誠実」「正義」
われもこう：「感謝」「変化」
秋明菊：「忍耐」「利益」



❖ 卓話

「小田原の歴史、神社と奉仕」

松原神社宮司・村上 道明 様



松原神社の歴史をまず簡単にお話いたします。松原神社は小田原市本町、小田原市民会館から少し海よりにあります。創始の時期は近衛天皇の久安年間1180年頃、平安時代から鎌倉時代へ移る頃と言われてい

ます。その200年ほど後に後醍醐天皇の頃、その土地に鶴が舞い降りて住み始めたという伝説があり、名前を鶴の森明神と変えたそうです。そしてまた200年後くらいの後、奈良天皇の時代に海中から十一面観音様が出てこられて、自分をお宮へお祀りするようにと託宣したと言われてい

ます。出てきた場所は山王原村の松原。そこから松原大明神と称されるようになったそうです。推測ばかりなのは理由があり、関東大震災で宮小路一帯に火災が発生して当社も社殿もろもろ全て焼失してしま

ったのです。当時の宮司はまだ私の祖父でしたが、ご神体だけは守ろうと包んで担いで逃げたそうです。松原大明神は戦国時代、北條氏が小田原を治めている時にご帰依を受け、様々な奇進や必勝祈願等を行っていたようです。当時の逸話として、小田原の海に大きな亀が上がり、漁師が珍しいものだからと神社の池に放しました。北條氏康がその話を聞いて「それは目出度い」と神社へ赴き、亀の上に鏡を載せて吉兆だと盛大な宴を催したそうです。それで現在も吉兆のお亀という御守を頒布しています。北條氏が敗れて江戸時代になってからは稲葉氏、大久保氏と、それぞれ帰依していただき今現在に繋がっています。松原神社といえ

ば例大祭をご存じかと思

います。5/3・4・5で、小田原市の北條五代祭り

と被っていますが、日程が一緒なだけで直接関連はありません。元々当社のお祭りは1/14・15で行って

いました。お正月で準備が大変ということもあり、参加される方々も寒い時期で色々難があ

ったので、4/14・15に変更しました。当時は社会も緩やかで、お祭りの時には学校も会社も半日休

みでした。しかし昭和40～50年代になるとさすがに平日だと参加が難しい方が増えて

きました。そこへ小田原市からお城祭りと例祭日を合わせてくれないかとのお話が出たの

です。宮司や神社の役員さんで相当話し合い、ご提案した時も賛成反対が半々

くらいの討議だったようですが、参加される子供さん、ご奉仕いただく町内の方々も

連休の方が出やすいだろうと、昭和52年に今の5/3・4・5になりました。しかしこ

ういったことも長く続くと反対意見もまた出てきます。五代祭りと例大祭りが混同

されたりするので、日にちを変えた方が良いのでは？という意見も最近

は出ています。松原神社は小田原総鎮守と呼ばれています。行政単位の小田原市は

大きな都市ですが、昔は万年町・幸町・緑町・十字町、この4つが小田原宿

でした。その総鎮守となります。神社神道についてお話をさせていただきます。日本人は

古来アニミズム信仰（自然崇拜）でした。自然の脅威を何とかしたいという思いで、

日本人の宗教観、道徳観、生活習俗が作られてきました。自然発生的に起こり、

日本書紀や古事記等に書かれているような祭祀の方法に繋がって

いきます。

天照大神が天岩戸に引きこもってしまった時、そこから何とか出ていただきたいと神様たちが意見を

出し合った結果が、祝詞、お供物、前面での宴、宴の中での舞踊でした。それが神社のお祭

りの原型で、神代の昔から脈々と受け継がれています。ただ神道が避けて通れないものは

大陸から入ってきた仏教です。日本人は外から来たものを拒否せず受け入れて、自分

たちの形に変えて自分たちのものにしてしまう部分があります。仏教に関しては神仏習

合思想があり、神様仏様は同じものという考え方が根深く長く続いています。平安末期

に始まり明治時代に神仏分離令が出されるまでずっと日本人はその考え方をしていた

のです。今でもお寺と神社の違いを問われてははっきり答えられる人は少ないでしょう。

明治政府によって国家神道が定められましたが、政府が国民の統一を図るため取り

入れたものです。敗戦後は神社が危険なものと思われたようで、全ての神社が潰され

ると心配しました。それを何とかしようとして出来たのが、神社本庁という組合

のような組織です。伊勢を中心

に全国の神社を包括する団体で、国の組織ではなく宗教法人です。神社全

てに培われているのは最初のアニミズム、自然崇拜。自然を畏敬の念で捉え、感謝

の心を持ってお祀りするということです。西洋の宗教において神様は絶対神・唯一

神ですが、日本で私たちが神様に手を合わせるの

は自分や家族を守っていただくため

です。その思いが神様にとっては逆に人々から

お力をいただくことになり、参拝者がい

なければ神様の力も弱まっていくの

です。参拝者が多く賑やかな境内の神

様はどんどん力を蓄えます。相互扶助の間柄

なのです。

ロータリークラブと神社、共通する言葉に「奉仕」があります。英語だと「サー

ビス」になり、似たような言葉で「ボランティア」もあ

ります。例えば同じ道路清掃でも「ボランティアでやっています」と「奉仕

（サービス）でやっています」は受け取る印象が違

います。ボランティアだと『わざわざやっ

ていただいて大変なのにありがとうござ

います』という感じ。サービスと聞くと素直に「ありがとう」と

言える気がし

ます。奉仕は受け取り手の気持ちが大

事なので『大変なのに』と恐縮させない、

そこまで行ってやっと奉仕の心にな

ると思います。相手に負担をかけない

心に高めていく必要があります。神社は

神様に奉仕し、RCの方々は地域社会

にご奉仕する。見返りは求めず、これ

からも共に頑張っていければと願っ

ています。

最後に皆さまに正式な拝礼作法をお

伝えします。まず鳥居の前で軽く会

釈してください。社殿の前には手を

清める場所があります。柄杓は右

手で取って左手を清め、次に左手

に持ち替えて右手を清めます。きれ

いになった右手に水をすくって口

に含んで清めます。最後に右手を

もう一度すくいで柄杓の水を流し

ておろします。社殿に向かう時は

中央ではなく真ん中を外して真っ

直ぐ進みます。社殿ではお賽銭を

入れ鈴を鳴らし、二拝二拍手一

拝をします。拝とは90度のお辞儀

です。終わりましたら鳥居をくぐ

る時に振り返ってまた軽く会釈

するときれいな拝礼になります。ぜ

ひご家族の皆さん、お子さん、お

孫さんたちにお伝えください。